

期日・会場

●平成26年6月4日(水)～6月27日(金)の期間12日間16回公演

期日	開催地	回数	会場	開演時間
6月4日(水)	須賀川市	1日1回公演	須賀川市文化センター	9:30
6月10日(火)	会津若松市	1日1回公演	會津風雅堂	9:30
6月11日(水)	南会津町	1日1回公演	御蔵入交流館	9:30
6月12日(木)	矢吹町	1日1回公演	矢吹町文化センター	9:30
6月17日(火)	福島市	1日1回公演	福島県文化センター	9:30
6月18日(水)	相馬市	1日1回公演	相馬市民会館	9:30
6月19日(木)	白河市	2日3回公演	白河市民会館	9:30 13:30
6月20日(金)				9:30
6月24日(火)	川俣町	1日1回公演	川俣町中央公民館	13:00
6月25日(水)	郡山市	3日6回公演	郡山市民文化センター	9:30 13:00
6月26日(木)				9:30 13:00
6月27日(金)				9:30 13:00

楽しく劇をみるために



- ベルが鳴ったら、いよいよ劇のはじまりです。席について静かにはじまりを待ちましょう。
- いらないおしゃべりは、みんなのじゃまになるのでやめましょう。
- 会場への行き帰りは、先生のいうことを守り、交通事故に気をつけましょう。
- 劇をみた後で、先生や友達と感想を話し合ってみましょう。

公益財団法人 福島県文化振興財団 (福島県文化センター)

〒960-8116 福島市春日町5-54  
TEL.024-534-9191 FAX.024-536-1926  
URL <http://www.culture-center.fks.ed.jp>

前進座 公演



花村月夜奇譚

はなのきむらつきよのきてれつ

月たちの夜

画・佐藤琢人

▶ 平成26年度 キッズシアター ◀

主催 (公財)福島県文化振興財団・福島県・福島市教育委員会・会津若松市教育委員会・郡山市教育委員会・白河市教育委員会・須賀川市教育委員会・相馬市教育委員会・川俣町教育委員会・南会津町教育委員会・公益財団法人会津若松文化振興財団・NPO法人地域おこし夢クラブ

後援 福島県教育委員会



# 素朴で懐かしい 新美南吉の童話が「おとぎ芝居」として蘇える

新美南吉 原作「花のき村と盗人たち」より



## ●STORY

花のき村はほっこりと美しい小さな村。どこの家にも鍵などはなく、これまで泥棒など入ったことのないのどかな村。そこへ4人組がやって来ます。かしらは本当の泥棒ですが、3人の弟子たちは今までの仕事がいやになって、これから泥棒になろうというのです。かしらは弟子たちに、忍んで入れそうな家をさがして来るよう言い聞かせ、村の中を調べに行かせます。1人になってしばらくすると、仔牛をつれた品の良い不思議な男の子がやってきます。男の子は、「これ、あずかっておくれ。」と言って、かわいい仔牛をあずけていきます。人からものを盗んだことはあっても、あずけられるなんて… 仔牛はすっかりかしらになついてしまいます。かしらのことを怖がらない村の女の子の相手をしているうちに、かしらは子どもの頃のことを思い出して、つい涙ぐんでしまいます。そこへ弟子たちが戻ってきて、仔牛がいるのでびっくり。しかし、いつまでたっても男の子は見つかりません。そこへ女の子が村役人を連れてきてしまい…

いつの間にか夜になり、きれいな月明かりの中、奇妙な夜が深まっていくのです。



## ●演出のことは

心を豊かにする力～新美南吉さんの世界

新美南吉さんの作品との出会いは、「ごんぎつね」が最初でした。とても心に響いたおぼえがあります。南吉さんの作品は、読めば読むほど、心がためされ、洗われていくことが感じられます。人間と動物がわかりあいたいという思いや行動、人のためにつくす美しさを大切にしています。時間に追われ、つかれていく心を元気にしてくれるように思いました。



◆脚本・演出 鈴木 龍男

このお芝居のもとになっているお話「花のき村と盗人たち」は、人を信じる事ができないドロボウが、ほっこりとした花のき村でふしぎな出会いをするお話です。人と人が、顔を見て、話して、笑い合い、泣き合う、そんなあったかいつながりこそ最も大切にしたいのです。新美南吉の心優しい物語の世界をかりて、人と人が支えあえるってどんなことを舞台上で描いていきたいと思います。

この作品は、江戸時代の農村が舞台となっています。私たち劇団前進座の大事にしてきた歌舞伎や芸能の表現をちりばめて、個性的な登場人物に踊りや歌の見せ場もおりこみ、楽しく心あたまる世界をみなさんにお届けします。



脚本・演出／鈴木 龍男  
美術／佐藤 琢人  
照明／田中 祐太  
音楽／日高 哲英  
振付／吾妻 寛穂  
効果／横山あさひ  
制作／花山麻季子  
横澤 寛美

